

会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回結城市総合教育会議
開催日時	平成30年7月10日 午前10時
開催場所	結城市役所 第1会議室
出席者	<p>構成員 結城市長 前場文夫, 教育長 小林 仁, 教育長職務代理者 中村義明, 教育委員 石川周三, 教育委員 北嶋節子, 教育委員 岩崎 勤</p> <p>構成員以外の出席者 市長公室長, 総務課長, 総務課総務係長 教育部長, 参事兼生涯学習課長, 学校教育課長, 指導課長, スポーツ振興課長, スポーツ振興課国体推進室長, 学校教育課学務係長</p>
議 題	(1) 意見交換: スポーツの振興について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
審議内容	別紙のとおり
問合せ先 (事務局)	結城市役所 市長公室 総務課 総務係 TEL 0296-34-0402 FAX 0296-32-5917 e-mail soumu@city.yuki.lg.jp
そ の 他	

平成30年度第1回結城市総合教育会議

○日 時 平成30年7月10日（火曜日） 午前10時

○場 所 結城市役所 第1会議室

○出席者

（会議の構成員） 前場文夫 市長
小林 仁 教育長
中村義明 教育長職務代理者
石川周三 教育委員
北嶋節子 教育委員
岩崎 勤 教育委員

（構成員以外の出席者）

市長公室長 大武英二
総務課長 飯田和美，総務係長 倉持卓之
教育部長 鶴見俊之
参事兼生涯学習課長 田中真一
学校教育課長 佐山敦勇，学務係長 石井智之
指導課長 鶴見力男
スポーツ振興課長 駒井勝男，スポーツ振興課国体推進室長 松本修一

1 議題（協議・調整事項）

（1）意見交換：スポーツの振興について

午前10時 開 会

○総務課総務係長 定刻となりましたので、ただいまから平成30年度第1回結城市総合教育会議を開会いたします。

最初に、前場市長よりご挨拶をお願いいたします。

○市長 【市長あいさつ 省略】

○総務課総務係長 前場市長，ありがとうございました。

続きまして，小林教育長よりご挨拶をお願いいたします。

○教育長 【教育長あいさつ 省略】

○総務課総務係長 小林教育長，ありがとうございました。

本日が今年度最初の会議となりますので，自己紹介をお願いいたします。

まず，前場市長，小林教育長の順に順次お願いいたします。

【前場市長，小林教育長，中村教育長職務代理者，石川委員，北嶋委員，岩崎委員の順で自己紹介 省略】

○総務課総務係長 ありがとうございました。

続きまして，事務局でございますが，市長公室，教育委員会の順をお願いいたします。

【事務局職員の自己紹介 省略】

○総務課総務係長 ここで，会議に入る前に本日の資料の確認をさせていただきたいと思えます。

【会議資料の確認 省略】

○総務課総務係長 それでは，早速会議に入りたいと思えます。

議事の進行につきましては，結城市総合教育会議設置要項第4条の規定により，議長である前場市長にお願いしたいと存じますので，前場市長，よろしくお願いいたします。

○市長 それでは，規定に基づきまして，議事の進行をさせていただきますので，どうぞよろしくお願いいたします。

それでは，議事に入ります。

議題（1）意見交換：スポーツの振興について，事務局から説明をお願いいたします。

◎議題（1）意見交換：スポーツの振興について

○スポーツ振興課長 【本市におけるスポーツの振興の施策について説明 省略】

○市長 ただいま事務局から説明がございました。ここからは議題に対しまして皆さんと意見交換を行いたいと思えます。委員の皆さんの活発なご発言をお願いいたします。

それではまず，市民スポーツ活動の現状と課題についてをテーマといたします。スポーツ教室の開催状況やスポーツ団体等についてご意見がありましたらよろしく申し上げます。

○岩崎委員 スポーツの振興ということで，スポーツ団体の指導者の資質という点につい

て、発言させていただきたいと思います。子供たちを指導する指導者がいろいろな経験の中で指導されていると思いますが、残念ながら、たまに指導の方法が間違っているような方がいらっしゃる時があり、そういう方がいると、結局スポーツ振興というものが崩れてしまう場合があると思います。

それは、4年前に結城市の小学6年生が、地区のクラブでしたけれども、石岡市で行われたテコンドーの大会の時に、大会の副審が呼び出した点呼にはっきり答えなかったという理由で、その副審がその小学生の選手の腹部に蹴りを入れたということがありました。それは、多くの保護者が見ている中でそういうことをしてしまう指導者がいたのですが、實際上、そういうことが起きた場合に、どこに相談をしていいかということがよくわからない。どこの窓口で相談したらいいということが明確になっていれば、そういうことを抑止する抑止力になると思いますので、結城市の小学生がそういうことに遭っているという前例がある以上、そういう体制をちょっと考えていただければというふうに感じますが、いかがでしょうか。

○教育長　　今は少年団の指導者は研修会等を経ていないと少年団の指導者にはなれないことになっているところです。当然、暴力とか体罰的なものに対しても根絶というのは大きく取り上げられ、また取り組んでいるところであります。

当然、教育委員会というのが1つの窓口にあります。スポーツ少年団であれば、結城は少年団の活動、組織ができていますので、そこを通して、そういうものに対してはきちっと県のほうから、はっきり言えば処分が出るでしょうし、対処をいただくということが現状になっているかと思います。

○石川委員　　指導者に関してですけれども、ルールがあつてのスポーツです。指導者がそれに反するような指示とかは、絶対あつてはいけないと私は思いますし、子供がかわいそうだと思います。指導者はその辺を十分に理解した上で指導していかないと、子供ということを考えてときに、生徒を考えてときに、教育の一環としても考えていかないと指導者の資格は無いと、私は思います。

○岩崎委員　　子供たちがスポーツに親しめる、楽しめるという体制を、これで完璧ということはないんでしょうけれども、できるだけそういう問題がないということもいつも突き詰めていただいて、運営していただきたいと思います。

○石川委員　　さっき、岩崎委員さんから、テコンドーの指導者が蹴りを入れたという話で、もしそういうときはどこに相談したらいいかという話ですけれども、そういうときは、テコンドーの連盟とか協会とかが必ずあります。連盟か協会がありますから、そういうところに話をまずはしていったほうがいいのかと私は思います。

○市長　　それでは、そのほかにご意見がありましたらどうぞお願いいたします。

○石川委員　　指導者の育成と資質の向上ということですが、やはり子供たち、小学生も中学生も高校生もそうなんですけれども、スポーツというのがまず、ルールがあつてスポーツは成り立っていると思うんです。ルールに反するようなことはいけないと思います。

ただそこに、未経験者の先生が審判をよくやっているということがあろうかと思うんですけれども、やはり指導者の向上を含めての審判の向上ももっと先生方には必要かなと思います。

審判の向上というものに関しては、研修も必要なのかなと、私は思うんですけれども、中体連という枠ではどうなんですか。結城もそうですけれども、ここでも県でもどこでもそうなんです。未経験者が多い中で審判をやらなくてはならない、人がいないからやらなくてはならないところもあるんですけれども、その辺は教育長としてどうしようと思っているんでしょうか。

○教育長

結城は非常に連盟が充実していて、野球でもバレーでもそれぞれの専門の皆さんが中学生の大会では審判に当たっていただいているので、非常にレベルの高い公正公平な試合を実施されていると思っています。ただ、部活動をやっている顧問は全てがその専門性を持っているということではないので、顧問が審判するというような大会では審判講習会とか、これは必ず種目ごとに実施しながら、それでもなかなかレベルの高い試合を判定していくのは難しい部分もありますので、そういうところはベテランと初心者が組んで審判をすとか、そういうような対応をしながらやっているのかなと自分は捉えているところです。

○中村委員

今回のテーマをスポーツ振興に設定していただいて、私はタイムリーだったと思います。今の話、ずっと問題があるということなんです。これは今に始まったことではないし、これからもっともっと大変なことになると思うんですが、例えば、中体連というのは中学校の教科体育ではなくて、部活動の指導についてです。経験者が顧問をしている部活では、自分の技量をいっぱい出して、子供たちと顧問でという、そういう部活もあります。中には、顧問が部活動の指導に出たくなくて、本当に減入っている、そういう先生が顧問だという部活動もあります。

私は考えなければいけないと、前から思っていたんです。自分がある学校に勤めていた時に、職員室から部活動の時間になると、ずっと外を見ていて外に出ようとしないう顧問がいました。それは出たくないんです。自分はそのスポーツの経験もないし、指導もできない。学校は、1つの種目に顧問として指導者が入るわけです。そうすると、先ほど石川委員が言われたように、経験者ばかりじゃないんです。

未経験でも審判としての例えば技量を身につけるか、研修を行って、それを培っていく先生もいるし、あるいは指導者として子供と一緒にスポーツをやりながら、その動きも含めてルールも含めて研修して培っていく先生もいますが、その先生は、部活が始まる時間に窓から外をずっと見ていて、出られない。それが毎日だったんです。結局それ自体はどう解決したかという、その種目の経験者の校長が指導しました。

でも、その先生にその種目を担当させなければならないという状況は実際にあるということなのです。このような実態の中で、顧問にあてがわれた先生が

たくさんいるということ。その辺は何とも私は理不尽だと思います。

それはなぜかという、結局、その先生が教科指導で十分な技量を持っていても、自信を無くしてしまうんです。そうすると、自分が持っている専門教科の技量を出し切らないで終わってしまう。それでは本当にかわいそうだなと思って、私はそれはずっと頭にあって、これはやっぱり1つ機構改革かなと、そういったものを進めなければならないなと思ったんです。いろいろ考えて、これは難しい問題なんですけれども、何かここで学校であれば先生も子供たちも地域も、そこには石川委員が苦勞されている部外の指導者という対処の方法もあります。その利用活用方法も非常に課題山積だし、うまく活用しなければならないしということで、なかなか問題が解決できないで、今まで来ているのかなという思いがします。

○教育長

今、外部の指導者というか専門的な方に技術的な部分の指導でお手伝いいただいたりして、石川委員さんには柔道で少年団も含めて、中学生も面倒を見ていただいて、そういう専門性の部分を結城市でも今もたくさん種目で応援をいただいていますので、そういう方にどんどん入っていただいて、技術的な部分での子供たちへのアドバイス、そういうものの充実を図っていく必要があるのかなと思っています。

ただ、今、国が進めようとしている部活動指導員の様な制度はまるきり性質が違って、部活動指導員の方が入ったら教員はそこには一緒に指導しないという制度設計なんです。そういう分業システムを、国が進めようとしているんですが、今のところ中学校の部活動では、教員が顧問をやりながら専門性の高い方と一緒にやるというような体制が大変機能していると思います。ただ、今後、もし予算の措置をしていくのであれば、専門性のある方で平日に子供たちの部活動の指導をいただけるような方を配置していくというのも1つの方法かと思っています。

○市長

例えば、北関東野球大会は大変長い歴史があって、たしか私が小学生のころからスタートしています。お寺へ泊まって、その人も今でもずっと引き継いでいまして、よくやってくれています。そういう方々の指導というのは大変だと思います。

○石川委員

今、皆さんの意見が出ていましたけれども、やはりスポーツ・レクリエーションの指導から何を指導していかなくてはならないか、子供たちの社会になったときにもいい方向にしていくためには何が必要かと考えたときに、私が思うのは、強ければいいではないと常に思っています。やっぱり人間的に礼儀作法、言葉遣い、態度、親に対する言葉遣いです。本来であれば親が教育するべきだと思うんですけれども、スポーツを通じて指導者の先生に教育、指導をしてもらうことがあるんですけれども、どこまで指導していいのかわからない状況も中にはあるのかなと思っています。

教育長さんの話にあった外部コーチに専門の人を入れたりしながら、学校側

との連携をとりながら、子供の指導に当たる。なおかつ、保護者も一緒になって教育をしていく。そういうことがものすごく大事なのかなと思っています。スポーツを介しての人間教育をいろんな種目がやってくれれば、いろいろ問題が多い中で連携を密にとりながら、子供の成長、教育をしていかななくてはならないのかなと思っていますので、自分のところだけでなく、結城市内又は近隣市で事案に対する対応についてアドバイスをするなど、そういう連携は必要かなと思います。

社会人になったときに、人のために頑張ってくれる教育をまずしていかななくてはならないと私は思っているものですから、スポーツは大事だと思います。まず礼法、そういうところを指導していきたいと思っています。

○市長

ありがとうございます。

中学校の場合は、大分コーチと先生は違うということですね。対応をとらないと、どちらも大変ということになっちゃうんですね。しっかりと対応していただけると大変ありがたい。

何かお話ししたい方いませんか。

○中村委員

では、よろしいですか。ちょっと自分の経験から。

私は、前の社会体育課で1年間お世話になったので、大変いい経験をさせてもらいました。その時に、地域スポーツクラブというのを初めて知ったんです。その時に、知らない以上は勉強して何とかしなければいけないということだったので、実際に結城市は遅れていた状態だったので、よしと思って、ちょっと入れ込んだんです。

視察に行かせてもらったり、いろいろ勉強させてもらって、1つの例だと、今まで、学校とか地域のクラブとか、スポーツをやらせてもらう対価を払わないで、自分たちはユニフォームとかそういうのは出しますけれども、特に先生・指導者に金を払うわけではない。そういう中でスポーツをずっとやってきた状況にあったわけです。

地域スポーツクラブというのは違って、月3,000円なり4,000円なりを払う。それで幾つかのスポーツの種目を自分でチョイスして、これはヨーロッパなどのクラブスポーツの発想だと思うんです。なおかつ、地域総合型なんて、スポーツだけでなく文化的なものも含まれる。その当時科学クラブというのを自分でやっていたので、そういったものもできるんだということで、私としてはかなり勉強させてもらったんです。

1年お世話になって2年目頑張るぞというときに、この教育委員に推挙されたので、2つはできないということで、残念だったんですが、その後の流れをずっと注視していたんです。

スポーツをいろいろなところでやれることは、これからの少子高齢化の中では非常に大事になってくると思うんですね。特に退職された方がどういう場に身を置くかというのは、選択肢はいろいろあっていいと思うんですが、例え

ば、同じ指導者が、あちこち飛び回って掛け持ちをするというようなことにもなると、指導者は疲れてしまう。あるいはたくさんの指導者を養成しなければいけない。そういうときに、例えば、地域スポーツクラブというのを拡大して、全部それに吸収していくという、そういうこともできるんじゃないかと思うんです。

地域スポーツクラブって、私はすごくいい理念だと思うので、これをどんどんやってもらいたい。

○市長

今、中村委員さんのお話から総合型スポーツクラブという組織はかつてあったと思いますね。これは国の補助金を使い切って、終わってしまった。そうすると、広まっていけないわけですね。そういうことが結城市にあったような気がいたします。

私は、小山市へよく行っているんで、小山市で非常に広くやっています、ゴルフやソフトボールと色々な形の指導者ができてやっています。これが、スポーツの中に、料理クラブなんかもそこに入っているんですね。できればそういうところも結城市でもやれば、いろんなことができますので、またしっかりとやってもらったらいいという感じがいたします。

北嶋委員さん、何かありますか。

○北嶋委員

いろいろなスポーツがあるので、どのくらいの人をやっているかというのはわからないですが、住民が利用している地区ごとの率はどの程度なのかと思ったり、スポーツ少年団のサッカーなんかを見ても、基本的に子供たちが少なくなっているんで、他の学校と一緒にやっているらしいんです。子供たちは数が少ないから、これからもそんな傾向が出ると思うんですけども、そういうふうに地域が2つも3つも一緒になってスポーツクラブを運営していくけれども、指導者はどのようにしてスムーズにやっているのかなということを思ったりします。

子供がサッカーをやりたいとお金が大変なのでやらせられないという親が結構出ているという話も聞くので、応援に行ったときの保護者の応援なども、私の子供たちがサッカーをやっていたころとは随分様変わりしているのかなというのは感じます。

○市長

子供さんがスポーツをやると親が手伝いをしなくてはならないこともありませんからね。

○石川委員

柔道も人数が少なくなっているという現状なんですけれども、でも、幼稚園生から試合があります。そうすると、親が送っていったり、誰々の保護者が、指導者が乗せていってあげるとか、いろいろ強制ではなくて、やっていかなくてはならないのかなと思っています。

やっぱり試合送迎が今、多いですが、強制をしてはだめだと思います。スポーツができるのは、お父さんやお母さんが働かないとできないわけですから、その辺は、指導者が理解してあげるということも必要なのかなと思っています。

○中村委員 今の関連ですね。大体、スポ少もそうですし、私も中学校の部活動と2つあわせて、いい存在だなと思うんです。というのは、先ほどの総合型の地域スポーツクラブとの兼ね合いもあるんですけども、うちの子供の場合を考えて話をさせてもらおうと、うちの子供はスポ少で、野球に入りました。野球と、女の子だったらバレーしかなかったのでも、スポ少で野球は全然向いていなかったということがわかった。部活は柔道があつて、柔道は正解だったんです。でも、そういう中で、もう当てはめられた中でしかできないので、どうしようもないんですけども、この二つで言えば、野球は向いていなかった、柔道は向いていた、ではなくて、ほかのスポーツもいい、楽しい対象として選べたのではないかと私は思うんです。

それができるのが総合型の地域スポーツクラブ。そういう中で、その子供にとって一番好きなもので、向いていない場合やめた、次に違うところに行こうという、それも可能なんです。中学校の部活だったらなかなか退部できないです。

そういうことを考えたら、日本のスポーツというのは、私は絶対に柔軟性がある、そういう組織がベストかなと思います。

○教育長 小さいうちにいろんなスポーツを体験できるというか参加できるという総合型の中村委員さんがおっしゃられている、子供たちがスポーツ教室であろうが科学教室であろうが、いろんなところに参加できるような、そういう仕組みがあるといいのかなというのは、もうそのとおりだと思います。いろんな選択肢があるというのは、今後スポーツの振興という部分で、小学生段階から、これは成人でもそういうことができるというシステムだと思います。

○中村委員 スポーツだけじゃなくて、文化的な、例えば科学好きな、そういう子もいっぱいいます。だからスポーツもやりたい、それもできる。それを組織化して、きちっとその辺を充実すればいいなと思います。

○市長 いろいろ触れていただきましてありがとうございました。少し時間が過ぎていきますので、次へ進みたいと思いますので、よろしいですか。

続きまして、2019年開催の茨城国体におけるおもてなしについて、これについて事務局で説明をお願いします。

○国体推進室長 【茨城国体でのおもてなしの方向性について説明 省略】

○市長 ありがとうございます。それでは、茨城国体におけるおもてなしということで、皆さんからご意見をいただければありがたいなと思います。

おもてなしとは難しいところがございますけれども、どのようなことがいいのか皆さんからご意見があれば、どうぞ、お願いします。

○石川委員 今、事務局から話がありましたけれども、来年バレーボールの国体ということですけども、もうちょっと盛り上がり足りないのかなと、そういう気がします。というのは、今、市で車にステッカーを貼っているけれども、あれは正直言ってよく見えません。動いていると、よほど目が良くないと見えません。

何をもっとPRしたほうがいいのかと考えたときに、のぼり旗でも、もうどんどん駅から立てるとか、北側にももっと立てるとか、もっと盛り上げるような方法があるのかなと思うんです。全国からのお客さんをおもてなしという話もありましたけれども、結城市を全国にPRするいい機会じゃないのかなと私は思っています。

だから、交通に関しても、ホテル、食に関しても結城市に経済効果はすごくあると思います。だから、もっとPRを、全国に発信ということがもっと必要かと思っているんですけども、このままでは全然PRが足りない。おもてなしもできないと思っています。

今度いつ来るかわからない、いい機会なので、もっと市民全員が本当に盛り上がっていければ幸いだなと思っています。

○中村委員

私も同感です。盛り上がりという点ではやっぱり欠けているなと思っています。先ほどの具体的な方法ですよね。車でもよそのある地域なんかでもありますけれども、ワゴン車全面に書いてありますから、あれだったらお年寄りでも誰でもわかる。そういった1つの方法はシミュレーションをちゃんと考えてやっていただくといいかなと思ったんです。

例えば、窓口対応とか電話対応とかってものすごく大事だと思うんです。元気のいい電話対応とか、その中に国体を使うとか。どこの部署でもいいと思うんです。ただその中に1つの文言を入れていっても私はおもしろいなと思います。元気のいい受け答えとかか明るい受け答え、それが必要だと思います。ああいう市役所だから感じいいよねとなれば、それは国体だけではなくて、いろんところで結城市は盛り上がるんですよね。私はそう思います。朝の元気な挨拶の中に国体の何かワンフレーズを入れるとか、そういうのをやったっていいんじゃないですか。

○北嶋委員

今年は福井国体なので、福井で担当している市役所の知り合いがいるので、おもてなしというのでどのようなことをしていらっしゃいますかと聞いたんです。

2、3年前から、国体が来るということで、あちこちの開催地へ見学に行っていて、いろいろ見たり聞いたりしてきたらしいんですけども、やっぱりのぼり旗をたくさん上げたり、プランターの花をやったり、地元のもので地域の特産物をふるまったり、駅前の案内などで会場までの簡単な道順を細かく色分けしたり、ボランティアの研修では高校生は笑顔とか、受け答えの仕方を、研修をしたり、あとは民泊のご案内も想定しているということで、のぼり旗がたくさんあがっているの、町じゅうが国体に向けてみんなが盛り上がっているという印象がすごくするというところを感じたらしいので、そういうこともやっていったらいいのではないかと思います。おもてなしということを考えたときに、今度の国体をきっかけに結城に行ったら、また行きたくなくなったような何か盛り上げ方が、おもてなしがあればいいと思います。

- 市長 どうぞ，岩崎委員さん。
- 岩崎委員 私も全国大会にそんなにいっぱい行ったわけじゃないんですが，行った時は必ず大会の資料の中に，その地域の観光の資料が入っていたんです。そういうところを何箇所か行ったときに，それが後になって，大人になってから，その地域の人と知り合ったときに非常に役に立つんです。
- なので，結城に来たらこの場所，それから滞在中に何食べるかとかいうことをある程度絞って，ここは特にお勧めですよということをPRできれば，試合が終わって時間が空いているときに行ってもらえるようになればいいんじゃないかなと思います。きっと後で役に立つと思います。
- 石川委員 開会式の前に何かデモンストレーション，それをやる予定とかは考えているんでしょうか。何か考えて，とにかく結城をPRすることがまず大事かなと思います。
- 教育長 多分，当日はバレーボールが動き出すんでしょうから，賑わいを醸し出すというのは，その前日とかそういう部分なんでしょう。
- 今もポスター張ったりとか，カウントダウンを流してくれていたりとか，相当やっているんですが，公共施設だけだと，どうしても賑わいじゃないけれども，盛り上がりが少し少ないような気がするので，もう少し地域の部分としてやっていくというのが，意識を高めるという部分にはつながるのかなと感じます。
- 中村委員 金はあまりかけないでできるという，そういう方法が一番いいでしょう。今度夏祭りがありますよね。ああいうときに，何か街宣というか，スピーカーでもちょっとコマース的な，国体を訴える，それを入れてもいいと思うんです。
- あとは，各地域の防災無線でもちょっと入れるとか，あんなのだからお金がかからない。そういったこと，お祭りがチャンスかなと思うんです。
- 石川委員 そうですね。
- 中村委員 物はすぐ忘れちゃいますよ。人が関わったことというのはなかなか残りますよ。
- 石川委員 こういう意見が出ましたということを事務局というか，そういうところでも話はしてもらえるんですか。せっかくこういう話し合いをされていて，意見がありましたと，そういうところはあるんですか。
- スポーツ振興課長 ここでいろんなご意見をいただいて，それを当然，今後国体をPRしていくとか国体を実施していく中では，貴重なご意見として，参考にさせていただきたいと思います。また，今後，実行委員会等も定期的に開催してまいります。そういった中で，今日いただいたご意見も踏まえた上で，市から実行委員会に色々な提案をさせていただきたいと思っていますし，また，今度8月25日，26日にリハーサル大会が開催されます。これを国体に向けたリハーサルということで位置づけ，そこでいただいたご意見も参考にさせていただいて，

取り上げられるものは極力取り入れる方向で、リハーサル大会を通じてより国体をPRしていきたいと、このように考えています。

○市長 よろしいでしょうか。

○岩崎委員 当然、国体の事務局のほうでもおもてなしということでいろいろ考えられると思うんですけども、今現在で各文化・産業を紹介しているところで、アピールしようというところで、どういったものを考えられているのか、今現在で既に考えられている部分はあるんですか。

○スポーツ振興課長 具体的な方策という部分は、テーマとして考えていますのは、おもてなしということで、結城にお見えになったお客様の五感に訴えるという方法を検討していこうかと考えています。五感、人間の触覚、味覚、聴覚などがありますが、その中で、結城紬といった地場産業などもありますので、そういったものでPRしていく中で、今後考えていきたいなと思っています。そういった各種市内の団体、例えば紬関係でしたら織協さんとか卸商さんとかいろいろな団体さんがおられます。また、物産協会とかいろいろな団体さんがおられますので、そういう団体さんとともに、一緒におもてなしの方法をいろいろ考えていきたいと思えます。

市で考えますのでこうしてくださいではなくて、各種団体の方々とも連携をとりながら、一緒になったおもてなしを考えて取り組んでいきたいと考えていますので、今後その進め方についても各種団体には実行委員にもなっていただいていますので、今後、また細かいお話をさせていただいて、取り組みを進めていければと考えています。

○市長 それでは、時間も経過しておりますので、皆さんから大変多くの忌憚のないご意見いただきました。誠にありがとうございました。本日いただきましたご意見、ご提案につきましては、真摯に受けとめまして、今後の教育行政のさらなる推進に努めてまいりたいと思えます。

今日は大変ありがとうございました。

それでは、これからの進行は事務局にお願いいたします。

○総務課総務係長 前場市長、ありがとうございました。また、有意義な会議になりましたことを重ねて御礼申し上げます。

それでは、以上をもちまして平成30年度第1回結城市総合教育会議を閉会いたします。

午前11時32分 閉会